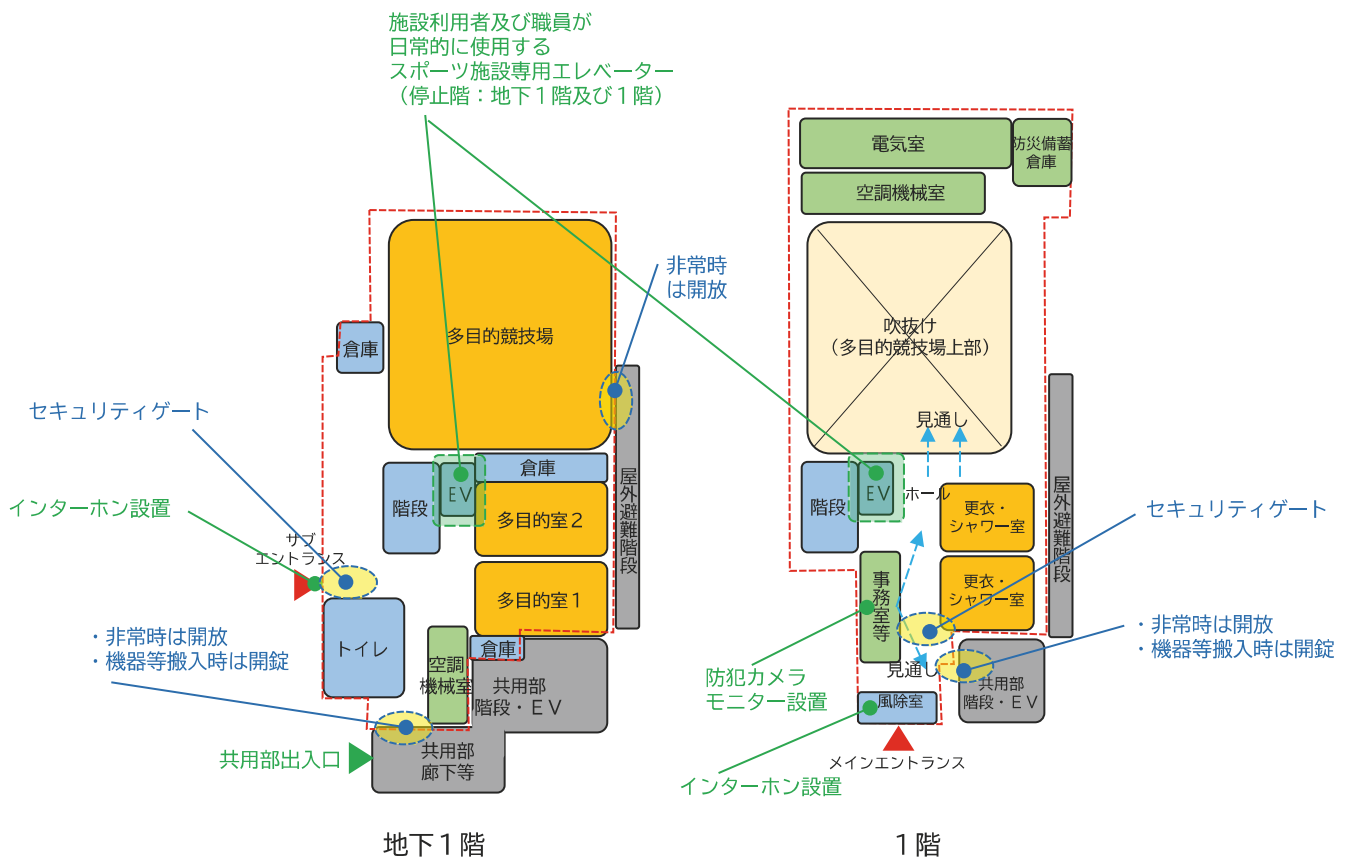


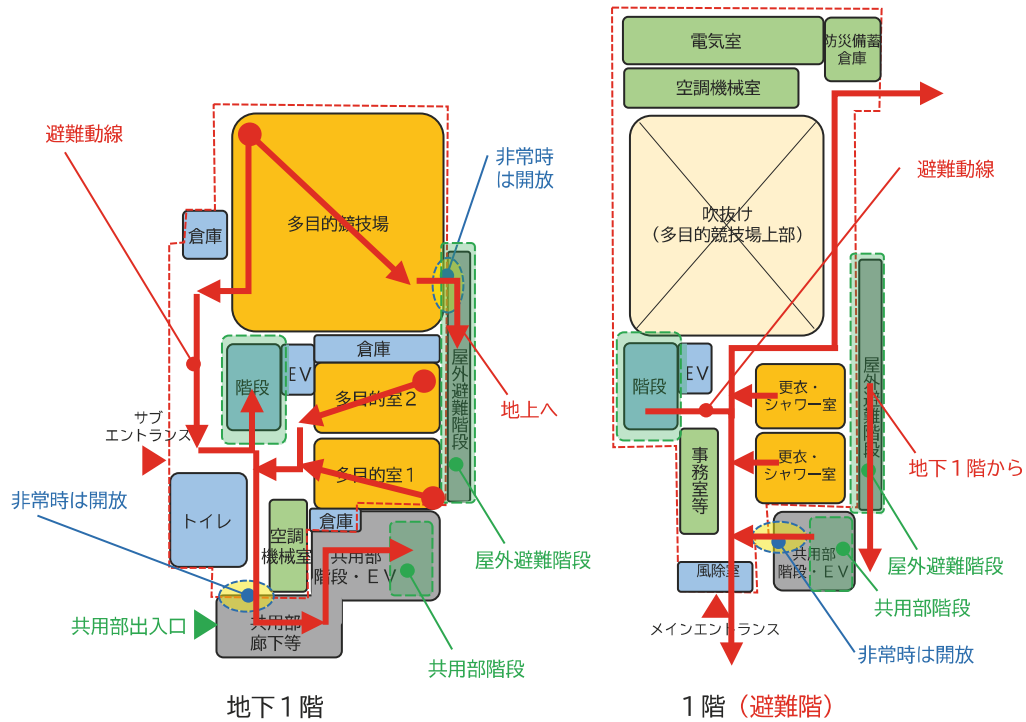
3 セキュリティ計画

- 受付兼事務室は、メインエントランス、更衣・シャワー室への出入口、1階ホール等への見通しを確保できる位置に配置し、館内のセキュリティ及び利用者の安全を確保します。
- 施設利用者の入退館を管理し、館内のセキュリティを確保するため、受付兼事務室に隣接させてセキュリティゲートを設置します。
- 共用駐車場から直接アクセスできる地下1階のサブエントランスには、館内のセキュリティを確保するため、セキュリティゲート等を設置します。
- 本スポーツ施設のメインエントランスとなる1階風除室及びサブエントランスとなる地下1階風除室には、インターホンを設け、受付兼事務室との連絡が取れるようにします。
- 共用エレベーター及び共用階段に繋がる扉は、非常時に避難動線として使用する際は開放できるようにするとともに、機器等の搬入動線として使用する際は都度開錠できるようにします。
- 受付兼事務室には、防犯カメラのモニターを設置することにより、本スポーツ施設の館内を監視できるようにします。
- 1階ホールから地下1階多目的競技場を見渡せるようにし、開放的な空間とするとともに、館内のセキュリティを確保します。



4 避難計画

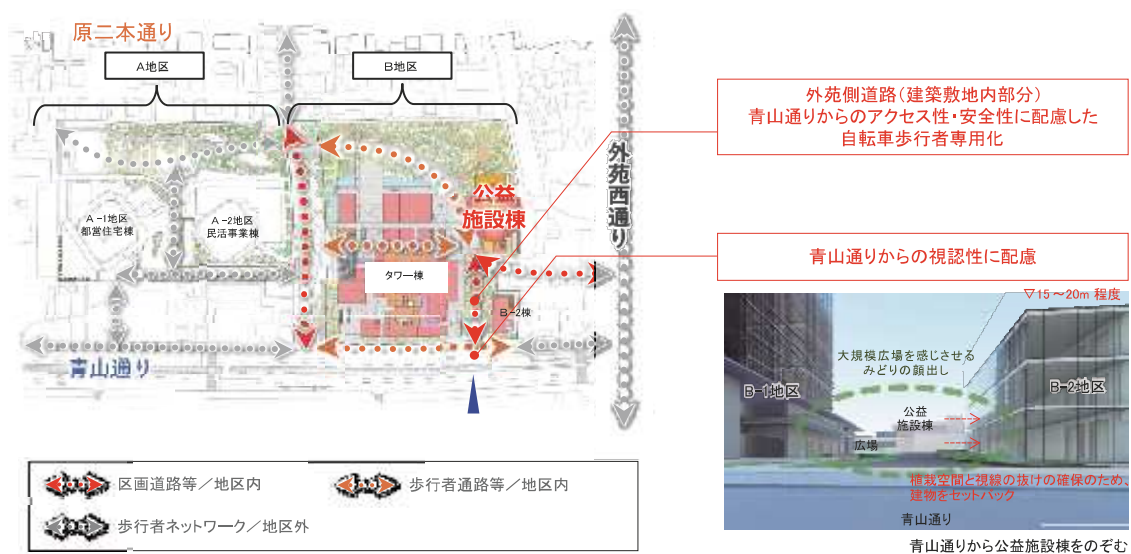
- 直接地上に出ることができる避難階は、1階とします。
- 多目的競技場からの避難経路は、スポーツ施設専用階段と屋外避難階段を利用する二方向避難を確保します。
- 多目的室1及び多目的室2からの避難経路は、スポーツ施設専用階段と共用階段を利用する二方向避難を確保します。



5 外構計画

(1) 歩行者動線計画

- 本スポーツ施設は、エントランスを青山通り側に向けることで、青山通り及び外苑西通りからアクセスしやすい歩行者動線とします。



(2) 車両動線計画

日常時

- 車両出入口は、区画道路1号側に設け、青山通りの自動車交通に支障を及ぼさないよう配慮します。
- 車両入口は、民活棟敷地内に設け、地区内地下接続車路により、B-1地区に接続します。
- 車両出口は、民活棟分を含め、B-1地区に設けます。

本スポーツ施設からの緊急搬送時

- 本スポーツ施設におけるけが人等を緊急車両で搬送する必要がある場合は、青山通りから、地区全体の地下駐車場に入ります。
- 地下駐車では、場内ルートに従い、スポーツ施設に隣接する救急車両停車位置で停車します。
- 本スポーツ施設の地下1階出入口から、ストレッチャー等でけが人等を搬送し、緊急車両に乗車します。
- 地下駐車場の出口へのルートに従って地上部に出て、青山通りへ出ます。

緊急時

- 民活棟経由の地区内地下接続車路が使用できない場合は、地上部における緊急車両動線を確保できるようにします。



(3) 有効空地及び緑化

- 東京都再開発等促進区を定める地区計画運用基準に基づき、本計画地の環境整備に有効で公衆の使用に供する空地を整備します。
- 東京における自然の保護と回復に関する条例、港区みどりを守る条例の各緑化基準を満たした緑地を確保します。

6 駐車場等計画

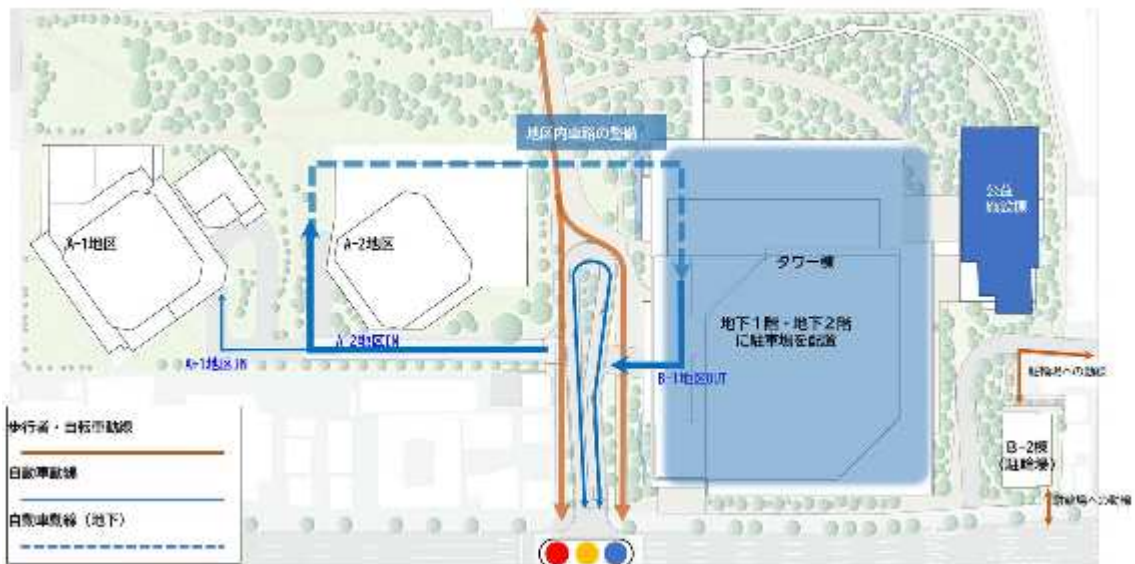
(1) 駐車場計画

- 駐車場は、本開発事業全体の共用部として計画するものとし、詳細は、全体の管理運営体制を検討する中で整理します。
- 駐車場の車両入口は、民活棟敷地内に設け、地区内地下接続車路により、B-1地区に接続します。
- 駐車場の車両出口は、民活棟分を含め、B-1地区に設けます。
- 自動車駐車場は、附置義務台数370台に対し、平置き駐車場、機械式駐車場を合わせて370台分を計画します(荷捌き駐車場含む)。
- 自動二輪駐車場は、附置義務台数16台に対し、23台分を計画します。

駐車場の計画台数まとめ

	計画台数	附置義務台数
自動車駐車場	370台 (うち荷捌き16台)	370台 (うち荷捌き10台)
自動二輪駐車場	23台	16台
合計	393台	386台

駐車場計画の概要

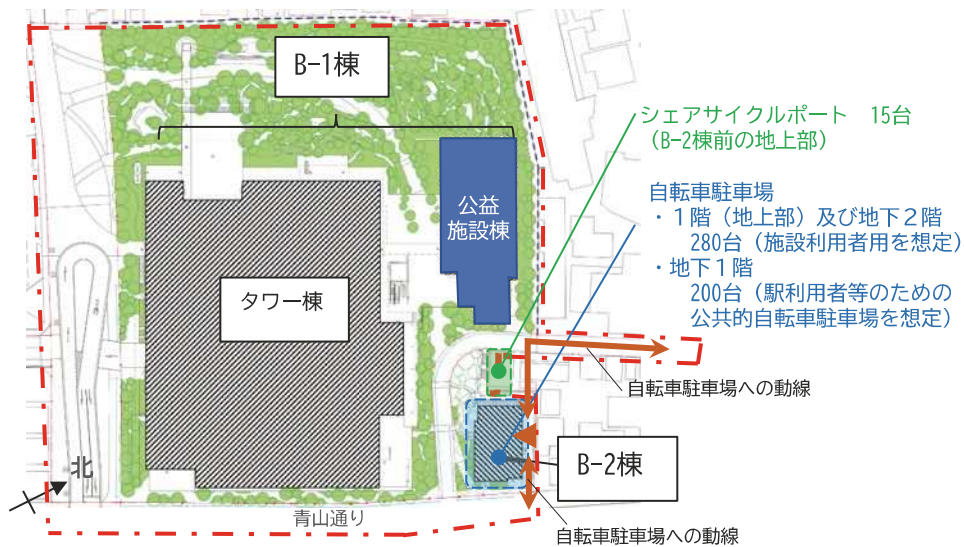


(2) 自転車駐車場計画

- 自転車駐車場は、本開発事業全体の共用部として計画するものとし、詳細は、全体の管理運営体制を検討する中で整理します。
- 自転車駐車場は、B-2棟の1階(地上部)、地下1階、地下2階にまとめて計画します。
- 地下1階、地下2階の自転車駐車場へは、専用のエレベーターを使用し、アクセスします。
- 施設利用者用の自転車駐車場に加え、駅利用者等が利用する公共的自転車駐車場を計画します。
- シェアサイクルポートは、B-2棟前の地上部に設置します。
- 各計画台数は、以下のとおりとします。

自転車駐車場の計画台数まとめ

	計画台数	附置義務台数
施設利用者用自転車駐車場 (B-1地区、B-2地区)	280台	280台
公共的自転車駐車場	200台	—
シェアサイクルポート	15台	—
合計	495台	280台



7 構造計画

本スポーツ施設が入る公益施設棟の構造計画については、敷地条件、地域性、建物用途への適応性、環境への配慮、施工性、維持管理の経済性等の設計条件を考慮し、意匠設計からの性能要求を満足させ、建築物の安全性、耐震性、耐久性、耐火性、施工性等の構造性能を確保するものとします。

(1) 建物概要

- 本スポーツ施設が入る公益施設棟は、地下2階、地上2階建てであり、そのうち、地下1階及び地上1階が本スポーツ施設となります。
- 地下2階には蓄熱槽やドライエリア、地下1階にはスポーツ施設として多目的競技場、多目的室1、多目的室2が配置されます。
- 地上1階にはスポーツ施設として更衣・シャワー室、事務室等、地上2階には店舗が配置されます。

(2) 構造種別と架構形式

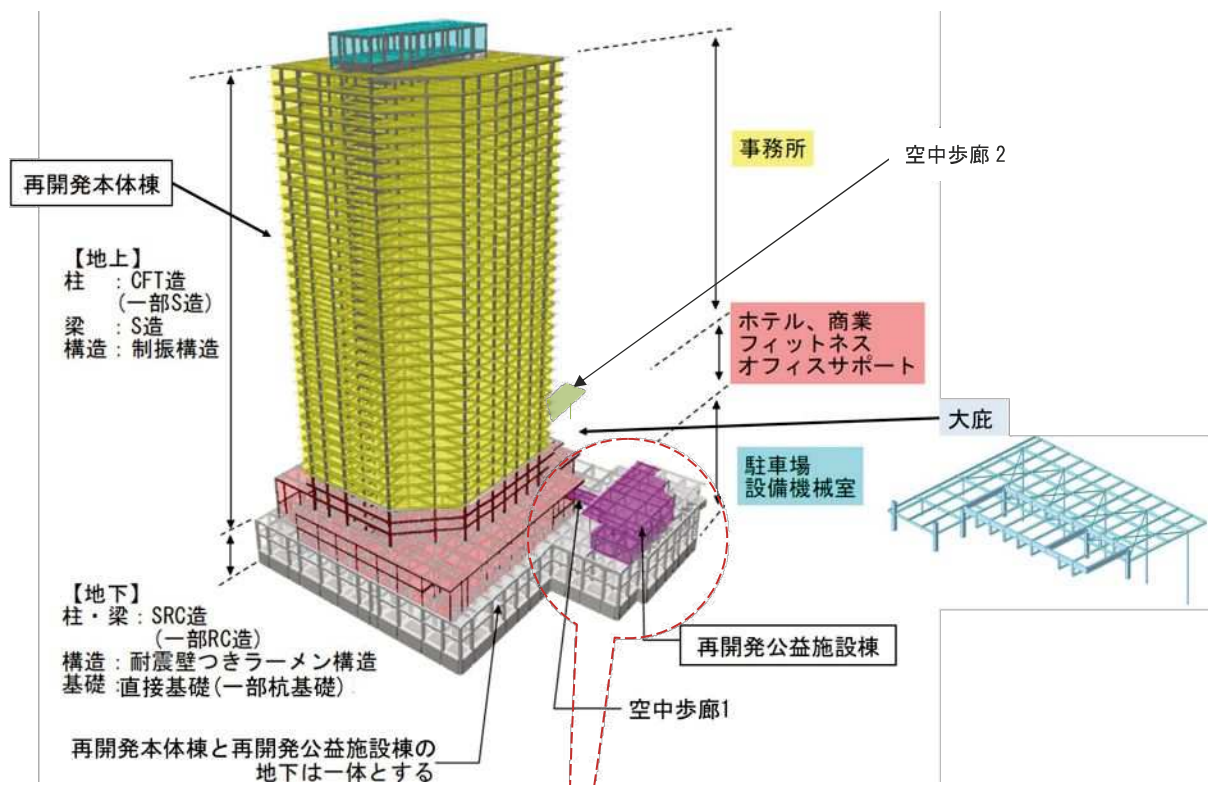
- タワー棟と公益施設棟で構成されるB-1棟は、地下の止水性能を考慮し、地下は一体となった1棟の建物となります。地上部については、エキスパンションジョイントを配置し、地上部の構造を独立させ、応力伝達に配慮した計画とします。
- 公益施設棟の地下部の構造種別は、鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)及び鉄筋コンクリート造(RC造)を主体とし、架構形式は、耐震壁付ラーメン構造とします。
- 公益施設棟の1階の構造種別は、鉄筋コンクリート造(RC造)及び鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)、2階の構造種別は、鉄筋コンクリート造(RC造)、鉄骨鉄筋コンクリート造(SRC造)、鉄骨造(S造)の混構造とします。
- 公益施設棟の架構形式は、1階はX方向のみ耐震壁付ラーメン構造、Y方向はラーメン構造とします。2階は、ラーメン構造とします。

(3) 基礎形式

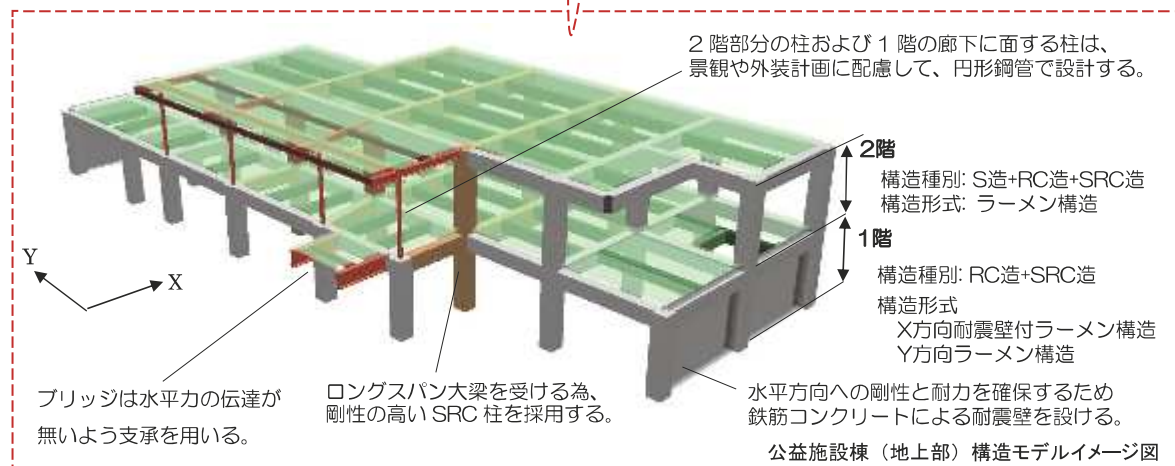
- 基礎は、施工中及び竣工後においても、建物重量を安全に支持し、沈下等の障害を生じさせることなく、かつ経済性にも配慮したものとします。
- 基礎形式は、設計GL-19.16m(T.P.+14.71)以深から出現するN値60以上の東京礫層・上総層群を支持地盤とする直接基礎とします。

建物概要・構造種別・架構形式等まとめ

公益施設棟	用途	構造	架構形式
2階	店舗	<ul style="list-style-type: none"> • RC造 • SRC造 • S造 	ラーメン構造
1階	スポーツ施設 (更衣・シャワー室等)	<ul style="list-style-type: none"> • RC造 • SRC造 	X方向:耐震壁付ラーメン構造 Y方向:ラーメン構造
地下1階	スポーツ施設 (多目的競技場、多目的室等)	<ul style="list-style-type: none"> • SRC造 • RC造 	耐震壁付ラーメン構造
地下2階	蓄熱槽、ドライエリア	<ul style="list-style-type: none"> • SRC造 • RC造 	耐震壁付ラーメン構造
基礎	—	N値60以上の礫層等を支持地盤とする直接基礎	

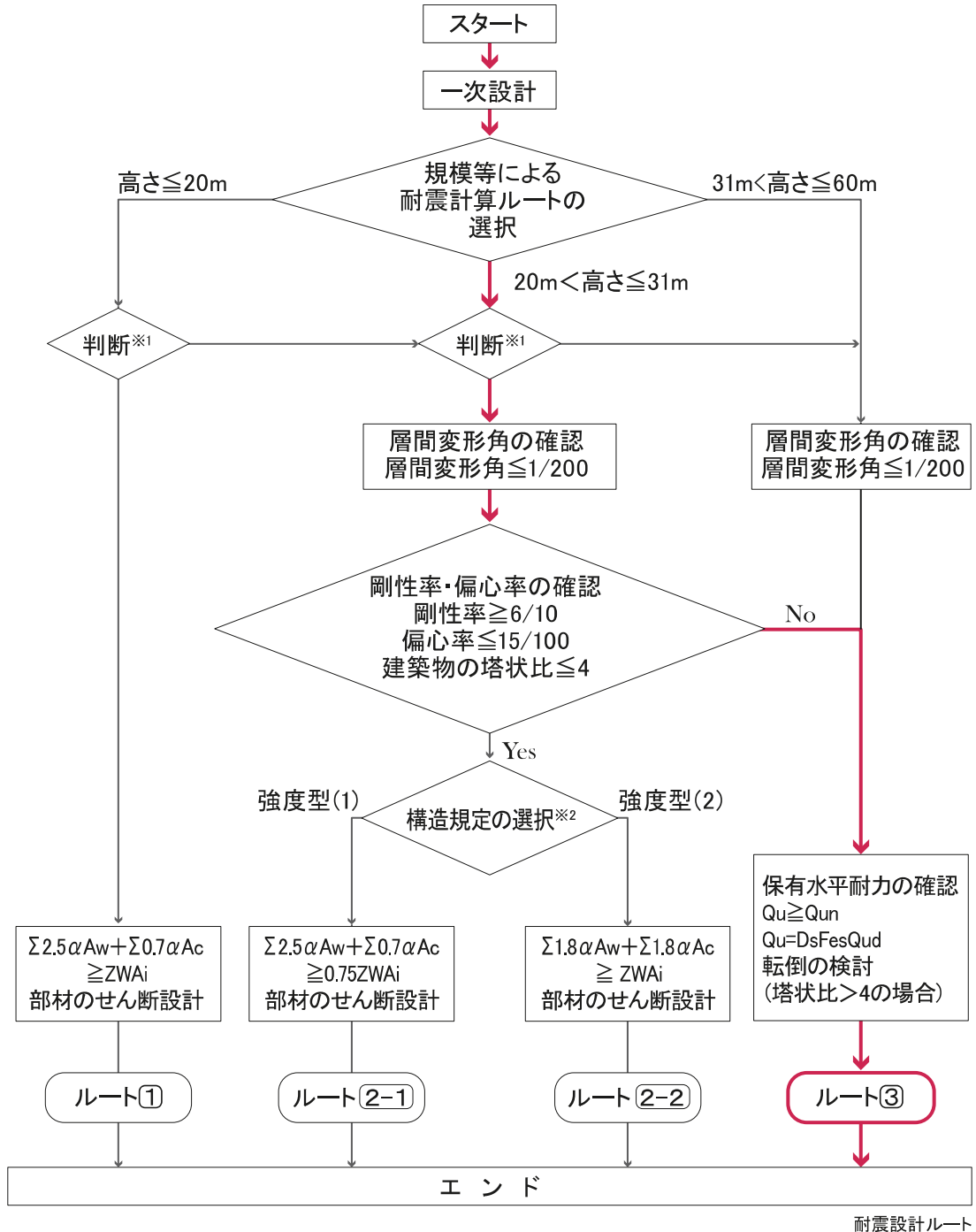


再開発等 (B-1 棟) 主要架構イメージ図



(4) 耐震安全性

- 公益施設棟は、港区施設整備マニュアルに基づき、耐震構造の重要度係数1.25を採用します。
- 公益施設棟の耐震設計ルートは、「ルート3」を採用します。



8 防災計画

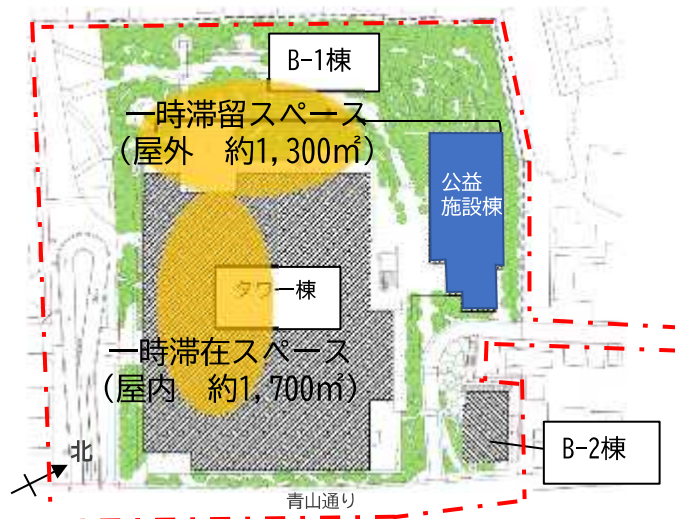
(1) 本再開発事業全体における防災計画

- 自動火災報知設備や防排煙設備などの防災管理については、タワー棟地下1階の防災センターに一元化します。
- 大規模災害が発生した際、BCP対策及び帰宅困難者対策として、3日間(72時間)の施設の自立性を確保するよう、非常用発電機や排水処理循環利用などの設備を備えます。

BCP計画のイメージ 大規模災害発生から72時間のシナリオ

インフラ状況	平常時	災害発生				
		1日目	2日目	3日目	4日目	
電源供給対策	電気 ×	商用電力	非常用発電機(重油) → 復旧			商用電力
		都市ガス(中圧)	コージェネレーションシステム(ガス)			都市ガス(中圧)
	ガス ○	商用電力	非常用発電機(重油) → 復旧			商用電力
		都市ガス(中圧)	都市ガス(中圧)			都市ガス(中圧)
その他のインフラ対策	上水 ×	上水道	備蓄対応			物資確保 給水車等による対応
		雑用水 ×	排水処理設備の循環利用+雨水貯留槽			物資確保 給水車等による対応
	下水 ×	上水道	排水処理設備の循環利用			物資確保 仮設WC等による対応
		下水道	排水処理設備の循環利用			物資確保 仮設WC等による対応

- 災害発生時に地域住民や来街者の一時滞留スペース約1,300㎡を屋外の広場に整備します。
- 帰宅困難者対策として、一時滞在施設(帰宅困難者一時受入場所)約1,700㎡(3.3㎡あたり2人として、約1,030人受入れ可能)をタワー棟の屋内に整備するとともに、3日分の飲料水、食糧、毛布等を備える防災備蓄倉庫を整備します。



(2) 本スポーツ施設における防災計画

本再開発事業全体における防災計画に加えて、本スポーツ施設においては、以下のとおり計画します。

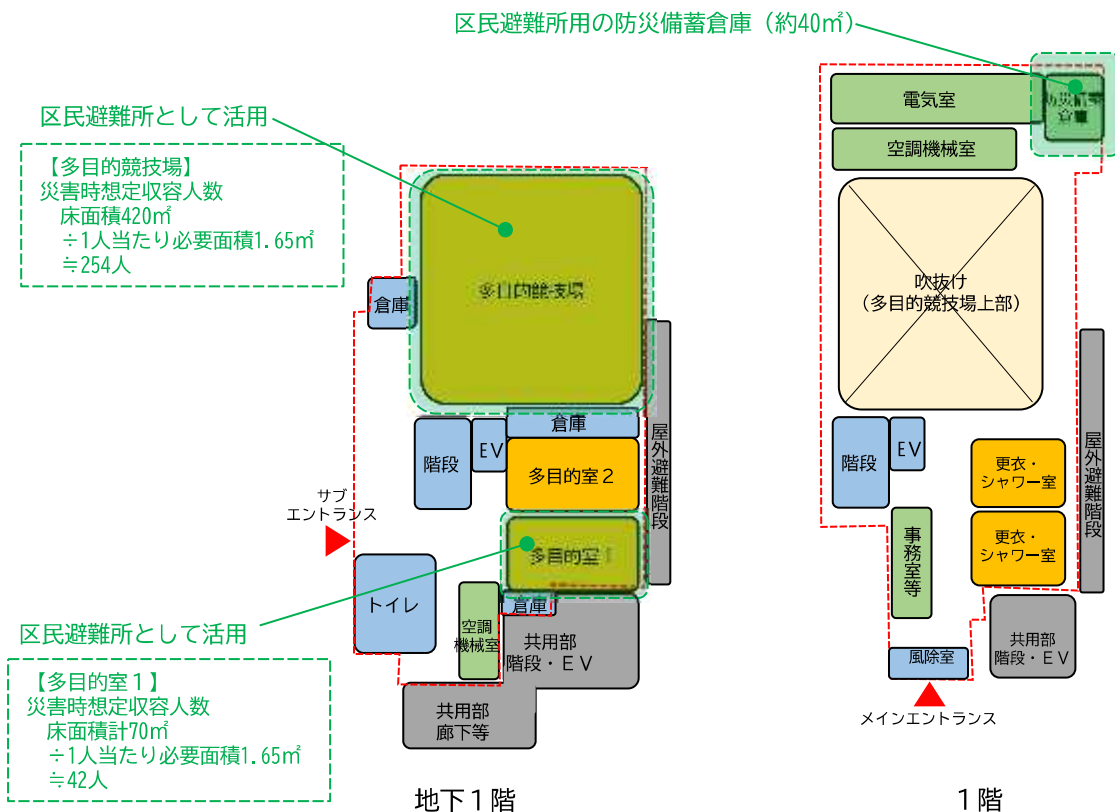
- 本スポーツ施設利用者用の3日分の飲料水、食糧等を備蓄します。
- 本スポーツ施設の多目的競技場及び多目的室1は、区民避難所として活用する施設とするとともに、区の防災備蓄倉庫(約40㎡)を設置し、災害時における区民避難所用の飲料水、食糧、毛布等を備蓄します。

災害時収容人数算定表

	面積	災害時収容人数
多目的競技場	約420㎡	$420\text{㎡} \div 1\text{人あたり必要面積}1.65\text{㎡} \approx 254\text{人}$
多目的室1	約70㎡	$70\text{㎡} \div 1\text{人あたり必要面積}1.65\text{㎡} \approx 42\text{人}$
合計	約490㎡	296人

※港区地域防災計画に基づく算定

- 本スポーツ施設には、防災行政無線及び緊急地震速報受信装置を設置します。
- 本スポーツ施設から直接地上に出ることができる避難階は、1階とし、施設利用者が安全かつ迅速に避難できるよう二方向避難を確保します。
- 本スポーツ施設において、傷病者等を救急搬送する場合は、地下1階のサブエントランス付近に緊急車両を停車させ、乗車・搬送します。



9 電気設備計画

(1) 設計方針

本スポーツ施設の電気設備においては、下記の項目を基本方針として計画します。耐久性に優れ、改修も容易な計画とし、高耐久及び長寿命な機器の選定を行い、ランニングコストの低減を図ります。

ア 区有施設としての高い独立性を確保した計画

本スポーツ施設への電力供給は、タワー棟と一体の計画とするものの、高い独立性を確保するため、共用設備である特別高圧電気室から、本スポーツ施設専用のサブ電気室へ引き込みます。

イ 維持管理の容易な計画

メンテナンス性を考慮した機器選定を行い、十分なメンテナンススペースを確保した計画とします。天井高が高い多目的競技場においては、高所のメンテナンスがしやすいように配慮した計画とします。

ウ 使い勝手の容易な計画

ユニバーサルデザインに配慮し、誰にでも使いやすい設備機器を採用します。

エ 地球環境に配慮した計画

照明制御による省エネルギー対策、全体供用としての太陽光発電設備の導入など、自然エネルギーを最大限活用し、地球環境に配慮した計画とします。

オ 非常時に配慮した計画

地震等の災害時にも機能するよう、非常時にも配慮した計画とします。多目的競技場及び多目的室1は、区民避難所となるため、全体計画において計画する非常用発電設備からの非常用電源を確保します。

(2) 計画方針

以下のとおり、各種電気設備の計画方針を策定します。なお、実施設計段階で、詳細の検討を行います。

ア 電灯、照明、コンセント設備

- サブ電気室から、各電灯分電盤に幹線ケーブルを設置します。
- 各分電盤は、EPS内に設置します。
- 各照明器具、コンセントに電源の供給を行います。
- 照明器具は、環境に配慮し、LEDとします。
- 多目的競技場、多目的室1及び多目的室2の照明器具は、多種目のスポーツに適した照度となるよう、調光機能を有した照明設備とします。
- 適宜、調光、人感センサー等による照明制御を行います。
- 消防法に基づき、誘導灯を設置します。
- 建築基準法に基づき、非常用の照明装置を設置します。
- 電力量計量区分は、本スポーツ施設で区分し、検針可能とします。
- 多目的室1及び多目的室2は、eスポーツ用機器を設置できる電気配線等を確保します。

主要室照度表

室名	照度
多目的競技場	500lx(調光機能あり)
多目的室1(ダンス、ヨガ、バレエ等)	500lx(調光機能あり)
多目的室2(ゴルフ、ヨガ等)	500lx(調光機能あり)
受付兼事務室	750lx
廊下等	300lx
更衣・シャワー室、トイレ、機械室、倉庫等	200lx

イ 動力設備

- サブ電気室から、各動力制御盤に幹線ケーブルを設置します。
- 各所に動力制御盤を設置します。
- 建築動力、設備動力機器に電源の供給を行います。

ウ 受変電設備

- 電力は、共用設備である特別高圧電気室から、本スポーツ施設専用のサブ電気室へ引き込み、サブ電気室内には受変電設備を設置します。

エ 非常用発電設備

- 本開発事業全体の計画として、大規模災害が発生した際、3日間(72時間)の施設の自立性を確保するよう、非常用発電設備を設置し、本スポーツ施設にも非常用電源を供給できるようにします。

オ 自動火災報知設備

- 消防法に準拠し、受信機及び各種感知器を設置します。
- 自動火災報知設備はタワー棟地下1階の防災センターに一元化し、本スポーツ施設の受付兼事務室には、火災情報がわかる副受信機を設置し、火災発生時の迅速な避難誘導、消火活動を可能とします。

カ 放送設備

- 非常放送設備兼用とし、タワー棟地下1階の防災センターに一元化します。
- スポーツ施設、店舗、オフィス、共用部など用途ごとに放送可能となるように区分します。
- 本スポーツ施設は、受付兼事務室に、リモートマイクを設置し、館内放送を可能とする仕様とし、スピーカーは、天井埋込型を基本とします。

キ 電話設備

- EPS内に端子盤を設置します。
- 本スポーツ施設の外線電話を受付兼事務室に設置するよう配線します。
- 非常用電話設備は、タワー棟地下1階防災センターに一元化します。
- 本スポーツ施設の主要室は地下1階であることから、館内において利用者の携帯電話の電波が入るように配慮します。

ク 構内情報設備

- 本スポーツ施設には、インターネット回線を引き込み、公衆無線LAN(MINATO CITY WiFi)、デジタルサイネージコンテンツ配信システム、施設予約システム等を利用できるようにします。
- 本スポーツ施設館内に、CATV配線を引き込み、緊急地震速報受信装置を設置します。
- EPS内には、情報機器設備と電源を計画します。

ケ 音響・映像設備

- 多目的競技場、多目的室1及び多目的室2には、単独の音響設備を設置します。
- 多目的競技場においては、反響や残響を極力抑えるためのラインアレイスピーカーなどの指向性の高いスピーカーを採用します。
- 多目的競技場、多目的室1及び多目的室2における音響機器本体の設置場所は、隣接する倉庫等の活用を検討します。
- 多目的室1及び多目的室2は、様々なeスポーツ用機器の設置が可能となるよう配慮した電気配線とします。
- 多目的室2は、ゴルフ等の練習が可能となるスペースの設置に伴い、先端技術を活用したシミュレーションゴルフ用の機器を導入します。

コ テレビ受信設備

- CATV回線を引き込み、CATVによる視聴を可能とするとともに、機器は全てデジタル放送対応とします。

サ セキュリティ設備

- 受付兼事務室には、防犯カメラのモニターを設置することにより、本スポーツ施設の館内を監視できるようにします。
- 利用者の入退館を管理し、館内のセキュリティを確保するため、受付兼事務室に隣接させてセキュリティゲートを設置します。
- 共用駐車場から直接アクセスできる地下1階のサブエントランスには、館内のセキュリティを確保するため、セキュリティゲートを設置します。

シ 誘導支援設備

- 本スポーツ施設のメインエントランスとなる1階の風除室及びサブエントランスとなる地下1階の風除室には、インターホンを設け、受付兼事務室との連絡が取れるようにします。
- 直接地上に出られる避難階となる1階の出入口、避難階への直通階段の出入口及びこれらに通じる廊下等には、蓄電池内蔵型LED誘導灯を設置します。

ス 太陽光発電設備

- タワー棟の屋上に太陽光発電パネルを設置し、発電された電気は、全体共用系統を経由して、本スポーツ施設にも供給します。

セ 構内配線

- CATV配線、電話配線、インターネット回線等を引き込むための配管を計画します。

10 機械設備計画

(1) 設計方針

本スポーツ施設の機械設備においては、下記の項目を基本方針として計画します。地球環境に配慮するとともに、耐久性に優れ、改修も容易な計画とし、高耐久及び長寿命な機器の選定を行い、ランニングコストの低減を図ります。

ア 区有施設としての高い独立性を確保した計画

本スポーツ施設に設置する機械設備は、熱源などタワー棟と一体の計画とするものはあるものの、本スポーツ施設の高い独立性を確保するため、可能な限り独立の系統とします。また、上下水道やガスの使用量の計量区分は、本スポーツ施設で区分し、検針可能とします。

イ 維持管理の容易な計画

メンテナンス性を考慮した機器選定を行い、十分なメンテナンススペースを確保した計画とします。

ウ 快適な環境を生み出す設備計画

使用目的に応じた室内環境の条件を満たし、快適に過ごすことができる空調システムとします。

エ 地球環境に配慮した計画

コージェネレーションシステムによる電熱供給など省エネルギーに配慮するとともに、太陽光発電による創エネルギーや雨水利用など自然エネルギーを最大限活用し、ZEB Oriented(ゼブオリエンテッド)の認証を目指します。

オ 非常時に配慮した計画

地震等の災害時にも機能するよう、非常時にも配慮した計画とします。多目的競技場及び多目的室1は、区民避難所となるため、全体計画において計画する非常用発電設備からの非常用電源を確保します。

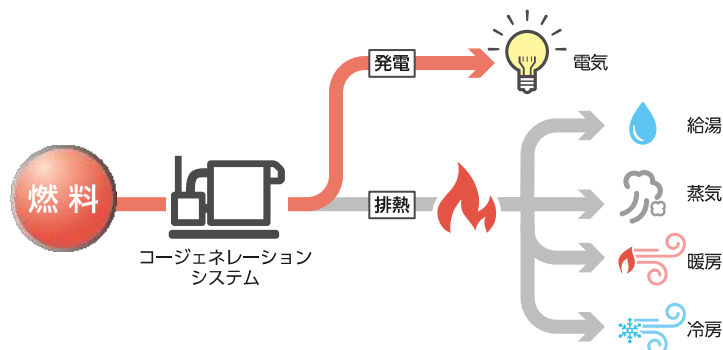
(2) 計画方針

以下のとおり、各種機械設備の計画方針を策定します。なお、実施設計段階で、詳細の検討を行います。

ア 熱源設備

- 熱源方式は、全体共用とし、高効率熱源機、冷水蓄熱槽、コージェネレーションシステムによる電熱供給の組み合わせによる電気・ガス併用のセントラル熱源方式とします。
- セントラル熱源方式では、環境性能、省エネ性能、BCP性能を確保します。
- ガス配管は、耐震性の高い中圧ガスを引き込み、コージェネレーションシステム等に供給します。

コージェネレーションシステムのイメージ



(一般的なイメージであり、本開発事業に係る熱源設備については、実施設計の中で詳細を検討します。)

イ 空調換気設備

(ア) 空調設備

- 空調熱源は、本開発事業共用の電気・ガス併用のセントラル熱源方式とするとともに、更なる性能向上を図るため、蓄熱槽とコージェネレーションシステムを導入します。
- 本スポーツ施設の空調方式は、独立系統とし、空気調和機による単一ダクト変風量方式とし、省エネルギーを考慮した空調設備とします。また、諸室ごとに温度及び風量調整を行います。
- 本スポーツ施設多目的競技場の空調設備は、天井の高い大空間の居住域を効率的に快適な温熱環境とするとともに、バドミントン等の競技に影響を及ぼさずスポーツ施設にふさわしい設備を採用し、床吹出空調方式とします。

床吹出空調方式を採用している区内スポーツ施設



港区スポーツセンターアリーナ



港区スポーツセンターサブアリーナ



港区スポーツセンター競技場2(バドミントン)



港区スポーツセンター競技場3(卓球)

(イ) 換気設備

- 主要室である多目的競技場、多目的室1、多目的室2及び使用頻度の高い室である受付兼事務室、更衣・シャワー室は、機械給気・機械排気による第1種換気設備方式とします。
- その他の室は、部屋の用途、使用頻度などを考慮し、換気方式を採用します。

本スポーツ施設換気方式

室名	換気種別	換気設備機器
多目的競技場	第1種 (機械給気・機械排気)	給気: 空調機 排気: 排風機
多目的室1、多目的室2	第1種 (機械給気・機械排気)	給気: 空調機 排気: 排風機
受付兼事務室、更衣・シャワー室等	第1種 (機械給気・機械排気)	給気: 空調機 排気: 排風機
トイレ、防災備蓄倉庫等	第3種 (自然給気・機械排気)	給気: 自然給気 排気: 排風機

ウ 給排水衛生設備

(ア) 衛生器具設備

- 建物の衛生環境において重要な設備であるため、仕様、機能等を十分に考慮し、所定の位置に器具を配置します。
- 節水型器具を採用します。

(イ) 給水設備

- 給水方式は、全体共用設備となる受水槽から、本スポーツ施設の圧力給水系統に引き込む加圧給水方式とします。
- 雨水等の排水の再利用による省資源化を図るため、雨水等を貯留後ろ過・消毒処理し、雑用水(中水)として共用部のトイレ等に利用します。

(ウ) 給湯設備

- 給湯方式は、全体共用設備となるボイラーから、本スポーツ施設の貯湯槽に引き込み、循環式給湯とします。
- 給湯補給水予熱は、コージェネレーションシステム廃温水を利用します。

(エ) 排水設備

- 本開発事業全体の建物内排水方式は、汚水、雑排水、雨水、厨房排水、駐車場排水の分流方式とします。屋外排水は、汚水、雨水合流とし、下水本管へ放流します。
- 本スポーツ施設からの排水は、本スポーツ施設の排水管から、全体共用設備となる排水処理設備に送り出し、公共下水道の放流水質に適合させます。
- 本開発事業全体においては、港区の雨水流出抑制施設設置対象となるため、地下ピットに雨水流出抑制槽を設置します。
- 雨水は、一部貯留の上、雑用水として再利用を行うものとします。

(オ) 消火設備

- 法令に即した消防設備を設置します。

(カ) シャワー設備

- 滑りにくく、水はけが良い床材を使用するなど、安全性や衛生面に配慮したシャワー設備とします。

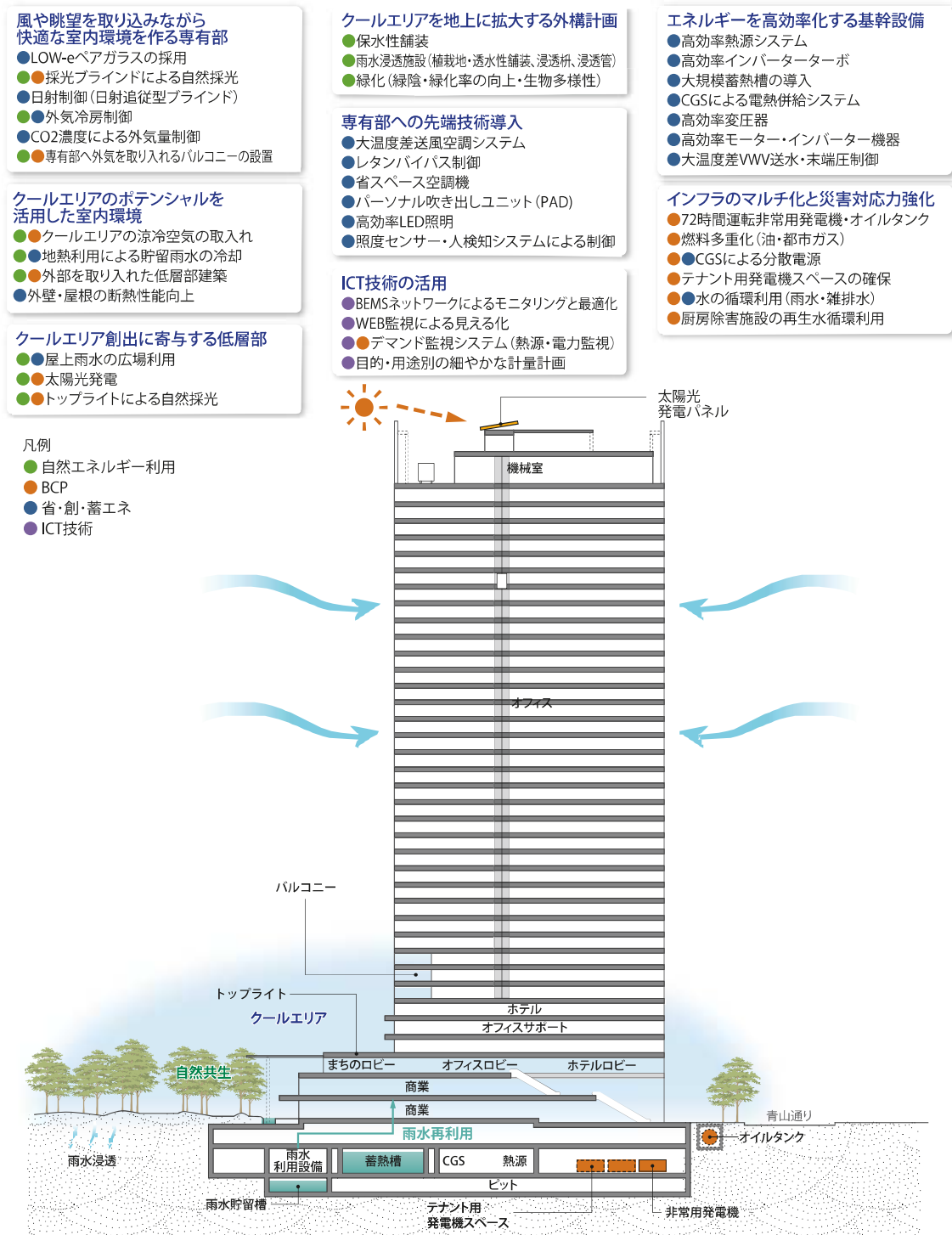
(キ) トイレ設備

- 大便器には、温水洗浄便座を設置します。
- 災害時を考慮し、一部タンク式トイレの導入を検討します。

11 環境計画

(1) 環境性能目標

- 2050年までに区内の温室効果ガスの排出実質ゼロとする「2050年ゼロカーボンシティ」の達成に向け、計画地全体として、高い省エネ性能を確保するものとし、ZEB 認証を目指します。本スポーツ施設を含むB-1棟については、延べ面積が10,000㎡以上の建物であることから「ZEB Oriented (ゼブ オリエンテッド)」の認証を目指します。
- 新しい都市づくりのための都市開発諸制度活用方針(東京都)、港区民間建築物低炭素化促進制度、東京都建築環境計画書制度等を踏まえ、PAL* 低減率14%以上、ERR23%以上を確保します。



環境技術採用項目

(2)協定木材[※]の活用

- 本スポーツ施設は、協定木材を活用し、みなとモデル二酸化炭素固定認証制度における★★(2つ星)(床面積1㎡につき0.005㎡)以上の認証を取得します。

※港区と「間伐材を始めとした国産材の活用促進に関する協定」を締結した自治体(協定自治体)から産出された木材

(3)緑化の推進

- 港区みどりを守る条例、東京における自然の保護と回復に関する条例の各緑化基準を満たした緑地を確保します。

(4)ヒートアイランド現象の緩和

- 塗料は、高反射率塗料を可能な限り使用します。
- タワー棟の屋上に太陽光発電パネルを設置し、発電された電気は、全体共用系統に供給します。

12 管理運営計画

本開発事業における施設全体の管理・運営方法は、本開発事業全体の管理運用体制を検討する中で整理します。

本スポーツ施設の管理・運営方法は、港区スポーツセンター、港区立運動場及び港区立氷川武道場と同様に、指定管理者による管理を視野に入れ、検討を行います。

第3章 経費及びスケジュール

1 経費(概算)

(1)整備経費
第一種市街地再開発事業における権利変換の手法により、従前資産の評価額を充当し整備します。

(2)維持管理経費			
1,833万円/年	内訳	・管理費 ・修繕積立金	1,556万円/年 277万円/年

(3)管理運営経費			
2,975万円/年	内訳	・施設運営経費 ・メンテナンス等経費	1,470万円/年 1,505万円/年

※経費については、物価や人件費の高騰など、社会経済情勢に伴い、変動する可能性があります。

2 事業スケジュール

- 令和 6年 3月 ●権利変換計画縦覧(2週間)
- 6月～7月 ●権利変換計画認可手続
- 令和 7年10月 ●建設工事着工
- 令和 9年11月 令和9年第4回港区議会定例会 設置条例議案提出
- 令和11年 7月 ●建物竣工
- 令和11年度中 運用開始

※ ●は本再開発事業施行者である独立行政法人都市再生機構による手続です。

※ 実施設計は、令和6年2月以降に開始予定です。

参考資料

1 ヒアリング及びアンケート

(1) 本スポーツ施設に関する意見

	意見者・団体	意見の内容
1	港区スポーツ推進委員協議会	パラリンピックのレガシーとして、床の強度を上げて、車椅子競技ができるようにしてほしい。
2	港区スポーツ推進委員協議会	天井高がそれほど高くないため、バドミントンを行うのは難しいのではないかと。できたとしても競技性が下がるのではないかと。空調の吹出口についても、バドミントンを行うのに支障が無いようにしてほしい。
3	港区スポーツ推進委員協議会	スポーツセンターのように、壁が陥没して補修するというのを繰り返さないように、壁の強度を上げておいてほしい。
4	港区スポーツ推進委員協議会	鏡やダンスバーの設置を検討してほしい。特にダンス種目に関しても幅が広がる。ある程度の天井高も必要。
5	港区スポーツ推進委員協議会	eスポーツもできるようにならないか。
6	港区スポーツ運営協議会	屋内スポーツ施設の整備が求められている一方で、屋外スポーツへの対応も求められているのではないかと。
7	港区スポーツ推進委員協議会	総合型地域スポーツ・文化クラブ(スポーカル)との連携ができるとよい。
8	港区スポーツ推進委員協議会	赤坂・青山地域の住民や団体への優先権を検討してほしい。
9	港区スポーツ推進委員協議会	青山運動場のような指定管理者による運営体制になるのか。

(2) 赤坂・青山地域のスポーツ環境に関する意見

	意見者・団体	意見の内容
1	港区スポーツ推進計画の改定に向けたアンケート調査	青山地域にはスポーツができる施設が少ないため増やしてほしい。
2	港区スポーツ推進計画の改定に向けたアンケート調査	現在南青山に住んでいるが、近くにスポーツ施設がない。港区スポーツセンターは充実しているが、電車を乗り継いでいくのが大変。赤坂、青山地域にも、同等の施設をつくってほしい。
3	赤坂青山町会連合会	港区スポーツセンターまで行くのは遠い。中途半端な施設だと使い勝手が悪くなる。
4	赤坂青山町会連合会	プールができるとよい。赤坂学園赤坂中学校はプール開放があるが、青山地域にはない。青山中学校は施設も古い。

(3) 港区全域に関するスポーツ施設環境に関する意見(港区スポーツ推進計画の改定に向けたアンケート調査)

	意見の内容
1	区の施設や教室などは、平日しか利用できないものが多い為、土日も開催拡大してほしい。乳幼児など子どもが小さいうちから参加できるプログラムがほしい。
2	子どもがスポーツ好きで、野球・バスケットをやっているが、ボールを使って良い公園が少ない。公園というより、ボール用スペースがあるとよい。
3	学校のスポーツ施設(フィールドなど)を週末に開いて、住民がランニングやサイクリングなどのスペースを利用できるようにすることを検討してほしい。
4	小規模でもいいので区が運営する気軽に体を動かせる(ストレッチなど)場所が身近にあるとよい。
5	ゴルフができる環境をつくってほしい。
6	ゴルフの打ちっぱなし場をつくってほしい。
7	港区のテニスコートの数が少なく、予約が取りにくいので、コート数を増やしてほしい。
8	区のスポーツ施設が遠く全く使えていないので、もう少し使いやすい場所に何かあれば嬉しい。
9	お台場地域にプールがあるとよい。

2 区立スポーツ施設等の概要

(1) 港区スポーツセンター

所在地 芝浦1-16-1(みなとパーク芝浦内3階～8階)

施設概要

(令和6年1月1日現在)

階数	施設	主な種目
8階	競技場2	バドミントン
	競技場3	卓球
6・7階	ランニングコース(屋内・屋外)	ランニング、ウォーキング
5階	アリーナ	バスケットボール、バレーボール、バドミントン バトントワリング、体操
	サブアリーナ	バスケットボール、バレーボール、バドミントン パドルテニス、フットサル、バトントワリング、体操、吹き矢
4階	武道場1	柔道、合気道、太極拳
	武道場2	剣道、空手、なぎなた
	武道場3	弓道、アーチェリー
3階	競技場1	ダンス、バレエ、ヨガ、体操
	多目的室	ダンス、バレエ、ヨガ、体操
	トレーニングパーク	ウエイトマシン、カーディオマシン、スタジオレッスン
	プール	25m×6コース、25m×2コース(歩行用)、 13m×7m(小プール)、ジャグジー

(2) 運動場・武道場

(令和6年1月1日現在)

	施設名	所在地	備考
1	麻布運動場	南麻布5-6-33	・野球場1面 ・テニスコート4面
2	青山運動場	南青山2-21-12	・野球場1面 ・テニスコート2面
3	芝浦中央公園運動場	港南1-4-1	・テニスコート4面 ・フットサル場(多目的運動場)1面 ・壁打コート2面
4	芝給水所公園運動場	芝公園3-6-7	・サッカー場(多目的運動場)1面
5	埠頭少年野球場	海岸3-14-34	・野球場1面
6	芝公園多目的運動場 (アクアフィールド芝公園)	芝公園2-7-2	・プール(50m×8コース、7/1～9/15) ・子どもプール(約128㎡、7/1～9/15) ・フットサル場3面(9/26～6/15)
7	芝浦南ふ頭公園運動広場 (かいがんばん〜く)	海岸3-33-20	・少年野球場(多目的運動場)1面 ・少年サッカー場 (フットサル場・多目的運動場)1面 ・サッカー場(多目的運動場)1面
8	氷川武道場	赤坂6-6-14	・畳・板敷兼用
9	江戸川河川敷グランド	埼玉県三郷市 新和4丁目地先	・野球場3面 ・民間借上施設

(3) 学校施設を活用した地域開放

ア 校庭・体育館等の開放

開放校一覧

(令和6年1月1日現在)

	施設名	所在地
1	御成門小学校	芝公園3-2-4
2	芝小学校	芝2-21-3
3	赤羽小学校	三田2-6-2
4	芝浦小学校	芝浦4-8-18
5	芝浜小学校	芝浦1-16-31
6	御田小学校	三田4-11-38
7	高輪台小学校	高輪2-8-24
8	白金小学校	白金台1-4-26
9	港南小学校	港南4-3-28
10	麻布小学校	麻布台1-5-15
11	南山小学校	元麻布3-8-15
12	本村小学校	南麻布3-9-33
13	筈小学校	西麻布3-11-16
14	東町小学校	南麻布1-8-11
15	赤坂学園赤坂小学校	赤坂8-13-29
16	青山小学校	南青山2-21-2
17	青南小学校	南青山4-21-15
18	御成門中学校	西新橋3-25-30
19	三田中学校	三田4-13-13
20	高松中学校	高輪1-16-25
21	港南中学校	港南4-3-3
22	六本木中学校	六本木6-8-16
23	高陵中学校	西麻布4-14-8
24	赤坂学園赤坂中学校	赤坂9-2-3
25	青山中学校	北青山1-1-9
26	白金の丘学園白金の丘小・中学校	白金4-1-12
27	お台場学園港陽小・中学校	台場1-1-5

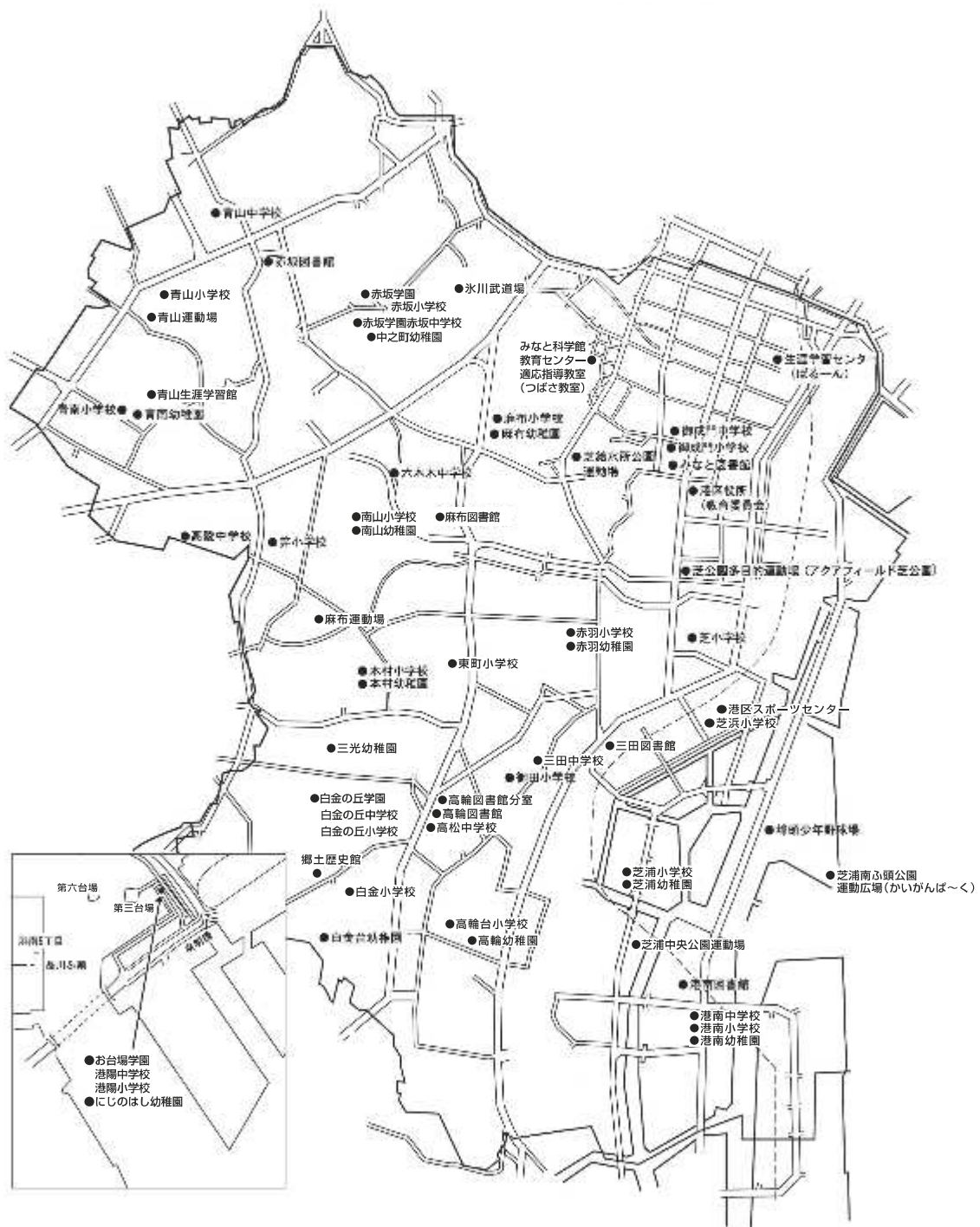
イ 学校屋内プールの開放

開放校一覧

(令和6年1月1日現在)

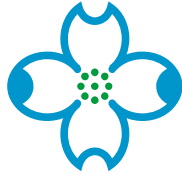
	施設名	所在地
1	港南小学校屋内プール	港南4-3-28
2	本村小学校屋内プール	南麻布3-9-33
3	御成門中学校屋内プール	西新橋3-25-30
4	高松中学校屋内プール	高輪1-16-25
5	高陵中学校屋内プール	西麻布4-14-8
6	赤坂学園赤坂中学校屋内プール	赤坂9-2-3
7	お台場学園港陽中学校屋内プール	台場1-1-5

(4) 区内教育施設所在図



(出典: 港区の教育 令和5年度(2023年度)版 事業概要)

区 の 木

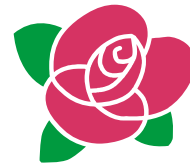


ハナミズキ

区 の 花



アジサイ



バラ



港区のマークは、昭和24年7月30日に制定しました。旧芝・麻布・赤坂の3区を一丸とし、その象徴として港区の環文字である「み」を力強く、図案化したものです。

発行番号 2023219-7260

(仮称) 北青山三丁目地区スポーツ施設整備計画

令和6(2024)年1月

発行：港区教育委員会

編集：港区教育委員会事務局教育推進部生涯学習スポーツ振興課

港区芝公園一丁目5番25号

03-3578-2111 (代表)